

おくりもの

記入者 北原 礼子



海賊船をこわした後に出てきた素材を使って自分たちでリースなどの飾りを作ったり、すみれ組のクリスマスツリーをみんなで飾ったりして、少しずつクリスマスの雰囲気が出てきました。すると、自然とクリスマスのお話が友達同士でもあがります。

「うちのクリスマスツリーも飾ったんだ〜」「サンタさんくるかなあ」

話している口ぶりや表情からクリスマスに思いを馳せるキラキラした気持ちが伝わってきて、かわいいなあ、と思っていると…

「ねえ、誰かに贈り物しようか」「いいねー！でも、誰に…??」「誰でもいいじゃん！お友達とかさあ！」…というやりとりが聞こえてきました。そこで、「みんな大きくなったから、小さいお友達に贈り物をするっていうのは？」とコソッと提案してみると、“それぞれ！そういうやつ！”という心の声が聞こえそうな顔がかわって来ました。

そこから、どんなものがあるかと相談をして、材料を集め、かわいくラッピングをしたりカードを書いたりして贈り物の準備をしていました。「喜ぶかなあ」「きっと大喜びだね」「開ける時にいっぱいドキドキするように、開ける所にリボン付けようよ」…準備をしているみんなはとっても楽しそう。相手に喜んでもらうことを自分の喜びにする心が育っているんだな、と、またひとつみんなの成長を発見して嬉しくなりました。

「あー！届けるのが楽しみ！サンタさんになった気分！」…こんな一言、サンタさんが聞いたなら、嬉しくて涙がでちゃうかもしれませんね。